

提出議案に関する説明会

1 会議の日時	<p>令和元年 6月12日(水)</p> <p>開 会 午前10時00分</p> <p>閉 会 午前10時48分</p>	
2 会議の場所	議会西棟第1会議室	
3 出席者	議 員	別紙のとおり
	執 行 部	別紙のとおり
4 事務局職員	<p>事務局長 市川 篤丸</p> <p>議事調査課長 籠橋 智基</p> <p>他関係職員</p>	

5 議事録(要点筆記)

○議会事務局長

ただ今から、提出議案に関する説明会を開催する。はじめに議長からご挨拶申し上げる。

○議長

(あいさつ)

○議会事務局長

以後の進行を副議長にお願いする。

○副議長

質疑は後ほど一括してお願いする。それでは執行部の説明を求める。

○総務部長

議員の皆様方には、日頃から県政推進についてご指導、ご鞭撻を賜り、感謝申し上げますとともに、本日は、提出議案を説明する機会を設けていただき、感謝申し上げます。

昨日、知事から説明させていただいたとおり、予算関係1件、条例その他が22件、合計23件の議案を提出させていただきました。

これらの議案について、順次説明させていただくのでよろしくをお願いします。

(関係次長等が資料に基づき議案の概要を説明)

○議員

野生いのしし対策強化について、野生いのししの生息頭数の把握に関して400万円とある。経口ワクチンの費用は国が負担するということがあったが、この予算についてはどうか。

○環境企画課長

県費での支出を予定している。

○議員

県費ということだが、予算負担の考え方について国としっかり整理はされているのか。

○農政部次長

ワクチン散布事業については、国のJRA資金を活用し全額国費でやっている。その中身はワクチンの調達、餌付け、散布、回収、サーベイランスとなっており、この範囲は国のJRA資金でやっている。この事業はその前段となる野生いのししの生息調査で、どれだけいのししがいるのか、現在は推定値しかない状態であるので、それを把握することでワクチン散布事業のみならず、いのしし対策全般に生かしていこうと思っている。ワクチン散布の国の対象事業からは外れている。

○議員

議第83号のソフトピアジャパンセンター条例の一部を改正する条例について、ソフトピアの会議室をIAMASの所管にするということだが、新旧対照表を見ると、レセプションホールや会議室など様々なものが変わると思うのだが、現状の稼働状況を教えてほしい。

○産業技術課IT活用促進室長

今回、一般貸出施設のうち18施設を廃止して、IAMASの事業の用に供するが、一般貸出施設の

うち、センタービル、アネックス、ワークショップ、ドリームコアの4施設にわたっている。例えばドリームコアは部屋によって差異はあるが10%に満たないものから10%を超えるような稼働率のもの、ワークショップは10%を満たないもの、センタービルのレセプションルーム等については10%に満たないものから超えるもの、アネックスについては20%を超えるものもある。

○議員

新旧対照表を見ると、数多く廃止されるので、分かりやすい資料を提供いただきたい。

○産業技術課IT活用促進室長

後ほど対応させていただく。

○議員

2点質問したい。野生いのしし対策強化において、豚コレラウイルスの浸潤状況調査や野生いのししの生息頭数等を推計するとあるが、誰がどのように、どのくらいの期間をかけて調査するのか。というのも、県職員が駆り出されている状況がある中で、更に調査となると負担が増えると思われる。

○農村振興課鳥獣害対策室長

ウイルス存在状況については、岐阜大学の鈴木先生と話をしており、大洞地区を対象に岐阜大学で調査いただくべく、調査経費等について今回予算を組み委託という形で考えている。

○環境企画課長

生息頭数の把握調査については、委託事業を予定しており、野生いのししの目撃頭数、捕獲頭数のデータを基に業者において推計することになるため、職員への新たな負担はないと考えている。

○議員

議第90号の岐阜県美術館の改修工事で空調設備の請負契約の変更について、固定方法等の変更ということだが、なぜ今になって変更が出てきたのか。状況を教えてほしい。

○文化伝承課長

屋外機の基礎工事は通常はコンクリートで設置することが多く、今回もその内容で設計していた。しかし発注後調査をしたところ、屋上防水に影響を及ぼさない方法で実施できることが判明したため、重要文化財等を所蔵する県美術館としては、所蔵品等への損傷を避け、漏水のリスクを少しでも減らすため、今回の方法を採用した。設計時には分からなかったものである。

○議員

議第79号の獣医師に支給する初任給調整手当について、有難い改正だと思っているが、当初は来年4月からの予定ではなかったか。6月議会に上程した理由と現在の獣医師数、あと何人増員する予定であるかを教えていただきたい。

○人事課長

獣医師の試験を今月末に迎えるところであり、7月中に合格発表を行う予定である。獣医師の確保は全国的にも困難な状況であり、一刻も早く初任給調整手当を上げるとともに支給期間を延ばして、岐阜県を選んでいただく強いインセンティブを設けて、早期の採用に繋げることが、今議会に上程した理由の一つである。また、年度途中で民間経験者採用試験も行っており、民間での経験を持った方へのインセンティブにもなるよう、早期に上程させていただいた。

獣医師の職員数については、現在、150名の定数に対し、146名の職員と5名の再任用職員がおり、全体で151名配置している。一方で育児休業を取得している女性職員もおり、その代替については、非常勤職員や他の職種を流用して対応している。今年度の採用試験では、十数名の採用を予定しており、今回、初任給調整手当を上げることにより、着実に獣医師を確保していきたいと考えている。

○議員

151名のうち、改正の影響を受けるのは何名くらいか。

○人事課長

1年目から15年目までの職員が、現在初任給調整手当を受給している。その人数は56名、そして今回1年目から20年間に期間を延長するため、これにより16年目から20年目の職員が初任給調整手当を受給できるようになる。その人数は20名であり、56名から76名に増加することになる。

○議員

野生いのししの生息数調査とあるが、高山でも陽性のいのししが発生した。県下全域にわたるのではないか。

○環境企画課長

調査は県内全体の生息頭数の推計を考えている。

○議員

いつまでにやるのか。

○環境企画課長

調査期間としては、2ヶ月から3ヶ月程度を予定している。

○議員

できるならやっていただきたい。欧州はどこへ行くのか。

○農政部次長

現在想定しているのは、ワクチンを輸入したドイツで、経口ワクチンの色々な例が蓄積されている。もう一つは同じように豚コレラ対策を行った経験があるリトアニアである。資料館のような研修施設があり、いまのところこの2国を考えている。

○議員

奨励金の増額はいくらか。

○農村振興課鳥獣害対策室長

今年度から1万5千円にしているが、プラス5千円で2万円である。捕獲したものを中央家畜保健衛生所に運んでいただいた場合、5千円増額として予算を組ませていただいた。

○議員

議第95号の警察用無線機の携帯通信系については、個々の警察官が携帯されている通信機か。

○通信指令課長

地域の交番の警察官が腰に装着している無線機は署活系無線機という名称であるが、それとは別で、雑踏警備や災害等が発生した時に、職員間で連絡する際の無線機である。

○議員

所轄の警察官が携帯している無線機は国が措置することになっているのではないか。それ以外のものは県費で購入するという枠組みになっているのか。

○通信指令課長

携帯用無線機は、既に県費は581台分整備されている。今回整備するのは200台であるが、これは型の古いものであり、電波法によりこの型は2年後に使えないため、新しい型に更新するものである。

○議員

豚コレラの件について、経口ワクチンを散布したが、うり坊が生まれているはずである。いのししの場合、子供に食べさせることをしないで、親が全部食べてしまう。うり坊は最終的には豚コレラで死ぬことになるが、それまでの間糞尿をまき散らす。うり坊対策について、ドイツの場合はハンターを全国から集めて、うり坊を徹底的に射殺してしまうと聞いているが、県はどのようにうり坊対策をするのか。

○農政部次長

うり坊対策については議員ご指摘のとおりの問題意識をもっている。有識者会議等でも、幼齢のいのししに抗体をつけ、それを調べるのが大きな課題であるといわれている。親が食べてしまうため、いかに幼齢いのししに食べさせて、それを捕まえて検査するかというところをしっかりとやっていく必要があると考えている。猟友会にお願いし、捕獲等やっていたが、幼齢いのししを捕まえる習慣もなく、専門的なハンターもいないため、欧州視察を含め、先進諸外国等の事例からも勉強していきたい。特定のいのししが食べてしまわないように、一穴に入れるワクチンの数を調整したり、幼齢いのししを捕まえるための箱罠が有効であるので現在やっているが、今はそれ以上の対策がないのが実情である。先ほどの諸外国の例や有識者などと良い対策がないか検討していきたい。

○議員

豚コレラで罪のない豚が殺処分されて、加害者のいのししは全頭殺処分されないのはどういうことかとかねがね要望してきた。先ほど箱罠の話が出たが、箱罠や他の罠を例えば建設業者をお願いしてあらゆるところに罠の許可を出して仕掛け、かかったものを猟友会に殺処分をと申し上げてきた。しかし罠捕獲対策費という予算が出てこない。ある養豚業者は豚のおかげで生活をさせてもらったといわれ、その豚が空っぽになり涙ぐんでおられる。加害者のほうが殺処分されていないのはいかがなものかと申し上げたが、なぜできないのか。

○農政部次長

なぜ豚にワクチンを打たずにいのししにという話は農家の方からもよくお聞きをする。豚を守らずいのししを守るとは何事かといわれるが、豚にワクチンを打つことの色々な弊害がある。国レベルでの清浄国の問題やトレーサビリティを作らなくてはならない等の課題があるなかで、まずは制約のない、いのししに免疫をつけるということなので、いのししを守っているのではなく、いのししがウイルスを媒介していることを鑑みて、いのししに抗体を付与することによってまき散らさない、ひいては養豚農家を守るということで、まずは弊害の少ない経口ワクチンをやっていくということである。農家対策、農家支援等については現在国から色々な提案が来ているので、農家に説明してよりよい対策をと個別にやりとりしている段階である。

罠については、今年度も調査捕獲の予算をとってやっている。6月補正では計上していないが、飛騨

でも陽性のいのししが出たので、飛騨も視野に入れながら、全県下でやっていく必要があると考えている。その予算に関しては、今現在は、当初予算で措置した分で対応できているが、今後、補正予算をお願いすることになると考えている。今は猟友会でやっていただいているが、今後地域の拡大や捕獲数が増えるとマンパワー不足も考えられるので、猟友会以外への依頼も今後の課題として検討していく必要があると考えている。

○議員

分かったが、いのししは有害鳥獣である。半分や三分の一を捕獲するのではなく、免許を早く大勢に出し、捕獲して、それを猟友会に処分してもらおうとかねがね申し上げた。罪のない豚が犠牲にならないように、豚の気持ちになって取り組んでいただきたい。

○農政部次長

いのししの数を減らしていきたい。シミュレーションでは3年間で根絶するという理論的な数字がある。有識者の方によると根絶や殲滅は無理と言われているが、3年間でなくなる数字を目標にしてやっていきたいと考えている。

○副議長

他にないか。

(なしの声)

○副議長

これをもって質疑を終結する

○通信指令課長

携帯無線に関して誤りがあったので、正しい数字を説明させていただきたい。携帯無線機について、国費整備が581台であり、今回整備する200台は県費である。

○議員

先ほどの説明からは、県費で整備したものを県費で更新と理解したが、国費で整備したものを県費で更新するということか。

○通信指令課長

これまでも国費の分と県費の分があった。県費の分を更新するものである。

○議員

混在しているということか。

○通信指令課長

その通りである。

○副議長

これをもって説明会を終了する。

月 日		令和元年6月12日(水)	
議 員 名		所 属	提 出 議 案 說 明 会
伊藤英生	藤秀光	教警	出 席
伊藤秀光	藤正博	企画	出 席
伊藤正博	井政嘉	厚生	出 席
今井政嘉	井豊太郎	厚生	出 席
岩井豊太郎	川恒雄	教警	出 席
小川恒雄	川祐輝	農林	出 席
小川祐輝	原尚	総務	出 席
小原尚	田佳幸	厚生	出 席
恩田佳幸	藤大博	総務	出 席
加藤大博	上哲也	総務	出 席
川上哲也	国枝慎太郎	教警	出 席
国枝慎太郎	佐藤武彦	厚生	出 席
佐藤武彦	澄川寿之	企画	出 席
澄川寿之	高木貴行	企画	出 席
高木貴行	高殿尚	総務	出 席
高殿尚	田中勝士	土木	出 席
田中勝士	玉田和浩	厚生	出 席
玉田和浩	所竜也子	企画	出 席
所竜也子	中川裕子	農林	出 席
中川裕子	長屋光征	厚生	出 席
長屋光征	布俣正也	総務	出 席
布俣正也	猫田孝	農林	出 席
猫田孝	野島征夫	総務	出 席
野島征夫	野村美穂	土木	出 席
野村美穂	早川捷也	農林	出 席
早川捷也	林幸広	農林	出 席
林幸広	尾藤義昭	土木	出 席
尾藤義昭	平岩正光	教警	出 席
平岩正光	平野恭子	土木	出 席
平野恭子	平野祐也	土木	出 席
平野祐也	広瀬修	教警	出 席
広瀬修	藤填守	厚生	出 席
藤填守	藤本恵司	土木	出 席
藤本恵司	松岡正人	農林	出 席
松岡正人	松村多美夫	農林	出 席
松村多美夫	水野正敏	企画	出 席
水野正敏	水野吉近	企画	出 席
水野吉近	村下貴夫	土木	出 席
村下貴夫	森正弘	厚生	出 席
森正弘	森治久	総務	出 席
森治久	安井忠	総務	出 席
安井忠	山内房壽	企画	出 席
山内房壽	山本勝敏	教警	出 席
山本勝敏	若井敦子	教警	出 席
若井敦子	渡辺嘉山	教警	出 席
渡辺嘉山		企画	出 席

